

平成29年度学校自己評価表 (計画段階 実施段階)

43

福岡県立筑紫丘高等学校長 印

| 学 校 運 営 計 画 (4 月) | | | | 評 価 (3 月) | | |
|--|--|--|---|-------------|--|--|
| 学 校 運 営 方 針 | | 豊かな心と創造力に富み、世界に貢献できる人材を育成する。 生徒に自ら考え、判断し、行動させ、さまざまな体験から多くを学ぶ指導をすべての教育活動で実践する。 | | A | | |
| 昨 年 度 の 成 果 と 課 題 | | 年度重点目標 | | | | |
| 生徒の能動的・主体的学びの推進だけでなく、新たにイメージ教育に取り組むなど、教員の授業改善へ向けての意識は大きく前進し、互いに授業実践し合う雰囲気が出てきた。 今年度は、評価の在り方を研究し、新たな学びに対応できる高い学力と、社会の一員としての自覚と責任を持って行動できる態度や心を育成することである。 | 高い学力と、それを活用して課題を解決する力、新たなものを創造する力をはぐくむ。 | | ①十分な知識及び技能を習得させ、主体的に学ぶ態度を育成する。 ②言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を育成し、他者との協働性を身に付けさせる。 ③理数教育を充実させる。 | | | |
| | 集団や社会の一員としての望ましい態度や行動の在り方を身に付けさせる。 | | ①社会の一員としての自覚と責任を育成し、生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣を確立させる。 ②たくましい体と強い精神力を育成する。 ③協働の喜び、達成感・連帯感を醸成し、互いの個性と人権を尊重し合う環境を作る。 | | | |
| | 自らの可能性を高め、挑戦する気概を持ち社会の発展に貢献する高い志を持たせる。 | | ①自己の個性を理解し、それを伸張させ、キャリアプランニング能力を育成する。 ②互いに高め合う環境で困難を克服するスキルを育成し、グローバルな視野を持って、社会にはばたく力を育成する。 ③自己の夢の実現とともに社会の発展に寄与する志を育成する。 | | | |
| 評価項目 | 具 体 的 目 標 | 具 体 的 方 策 | 評 価 (3 月) | | 次年度の主な課題 | |
| 学力の向上 | ・十分な知識及び技能の習得 ・言語活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成 | 高い学力を身に付けさせるために定期考査の改善に取り組み、評価の在り方について研究を深め、授業改善を推し進める。 | A | A | ・定期考査については記述問題の出題を推進し、改善に取り組んだ。 ・主体的・対話的で深い学びの評価法に関しては、各教科から代表者を選出し研究チームを作った。次年度は研究チームをさらに機能させ研究を深めたい。 ・総合的な学習の時間については、新学習指導要領の「総合的な探究の時間」を視野に入れ、より改善を図りたい。 ・理数科の海外修学旅行については、現地在住の卒業生等の人脈を活用し、本校独自のプログラムを創り上げることができた。次年度は2年目となるが、さらに内容を充実させたい。 | |
| | | ループリック、リフレクションシート等の開発を図り、主体的・対話的で深い学びの評価法を確立する。 | B | | | |
| | ・主体的に学ぶ態度の育成 ・他者との協働性の育成 | 第3学年の「総合的な学習の時間」の内容の一部見直しを行い、内容の充実を図るとともに、評価の在り方についての検証を行う。 | B | B | | |
| | | 「高校生科学技術コンテスト」や全国・世界レベルの大会等への挑戦及び「理数科課題研究発表会」での上位入賞を目指す。 | B | A | | |
| ・理数教育の充実 | 理数科における教育の充実のため、最先端の技術を学べるアメリカの企業や研究施設を訪問し、初年度となる海外修学旅行を成功させる。 | A | | | | |
| 生徒の健全育成 | ・社会の一員としての自覚と責任の育成 ・生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立 | 生徒のさわやかな挨拶や身だしなみ指導を徹底し、生徒の主体的な清掃活動を促しながら、気づきの視点を育てる。 | B | A | ・教育活動のあらゆる場面を通じて道徳心の涵養に努めたい。そのために次年度は、例えば「道徳週間」等の期間を設定し、全職員で指導の徹底を図りたい。 ・年間を通して、自転車マナーの悪さが原因と見られる交通事故や深刻な事故につながりかねないような案件が続き、外部からの指摘もあった。また、携帯電話やスマートフォンの校内での使用マナー違反や校外での一般的なマナーについても課題がある。次年度は、ルールを徹底させる指導を継続して行う。 ・三大行事だけでなく、生徒会役員による朝の挨拶運動や整美委員会の清掃の徹底に向けての取組等、生徒が積極的に行動する姿が見られるようになった。次年度は、「教える指導」から「育む指導」へと移行させ、生徒を育てていきたい。 ・生徒支援に関しては、専門家によるカウンセリングや教員が行う面談の充実等、生徒を多方面から支援できた。次年度は合理的配慮の一層の推進を図りたい。 | |
| | | 職員間でいじめに対する認識を確認し合い、SNSを含めた生徒の動向を観察しながら、些細な兆候を見逃すことなく、いじめのない安全・安心な教育環境を確立する。 | A | | | |
| | | 携帯電話・スマートフォンの使用及び自転車のマナーを徹底し、集団としての規律やルールを遵守する指導を行う。また、登校指導や交通安全指導を徹底し、交通事故を減らす。 | B | | | |
| | | 生徒が将来社会の一員として健全に社会参画できるよう、政治参加教育を充実させる。 | A | | | |
| | ・協働の喜び、達成感・連帯感の醸成 | 三大行事の生徒運営委員会を通してリーダーを育成しながら、組織の在り方を学ばせる。 | A | A | | |
| | ・たくましい体と強い精神力の育成 ・互いの個性と人権を尊重し合う環境づくり ・特別支援教育の指導体制の確立 | 生徒が健康で安全な学校生活が送れるよう、スクールカウンセリング、面談ウイーク、オフィスアワー等の教育相談体制を充実させ、生徒の心のサポートを行う。 | A | A | | |
| | | 「生徒サポート委員会」や共有フォルダの活用を通して生徒の状況を把握するとともに、生徒を深く理解し、情報を共有し合う環境を作り出す。 | A | | | |
| 特別支援を要する生徒への「合理的配慮」を推進し、指導体制を整えるとともに、保護者と連携し「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を作成する。 | | A | | | | |

(その2)

| 評価項目 | 具体的目標 | 具体的方策 | 評価(3月) | | 次年度の主な課題 |
|---------|--|---|--------|---|---|
| 進路指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 自己の個性の理解とその伸張 互いに高め合う環境での困難を克服するスキルの育成 | 模擬試験の結果分析や生徒の学力実態、志望動向を把握し、生徒の進路実現を支援する。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 大学入試制度の改革については、絶えず情報を収集し、経営企画会議で本校のこれからの戦略について議論を進めてきた。特に外国語の外部検定利用については、次年度以降も引き続き注視していく必要がある。 難関大学対策については、各学年で志を同じくする生徒同士をつなぐ手立てを講じており、次年度も、生徒同士が互いに高め合える健全な競争意識を醸成していく。 社会人講演会や医学部進学講座等の一層の充実を図るとともに、卒業生との交流の機会を増やし、キャリア形成の意識をさらに高めたい。 小論文コンクールや各種検定試験受験を一層奨励し、全国や世界レベルの大会へ挑む態度を育成する。 |
| | | 大学入試制度改革に関する情報の収集と提供を行い、生徒が広い視野を持って進路選択ができるよう進路指導を徹底するとともに、難関大学受験層を早期から育成するため、個人面談を中心としたサポート体制を整える。 | A | | |
| | | 生徒の多様な進路希望に対応した、類型別の課外、グレードアップセミナー、進路別二次対策授業を充実させる。また、難関大学のAO・推薦入試等に対応した指導を行う。 | A | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> キャリアプランニング能力の育成 自己の夢の実現とともに社会の発展に寄与する志の育成 グローバルな視野を持って、社会にはばたく力の育成 | 社会人講演会や医学部・難関大学進学講座の一層の充実を図るとともに、外部講座やインターンシップへの積極的な参加を促すなど、キャリア教育を充実させる。 | A | B | |
| | | 小論文コンクールの各ジャンルで優れた作品を出品できるよう指導の徹底を図るとともに、全国・世界レベルの大会等へ積極的に挑戦する態度を育てる。 | B | | |
| | | 九州大学を中心とした近隣大学進学者による講演会を実施し、自らの将来像をより具体化させる。 | B | | |
| 広報活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 外部機関との連携 | P T Aや同窓会との連携を深め、創立90周年記念事業を成功させる。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 本校は今年度創立90周年を迎えたが、P T Aや同窓会、学校関係者評価委員等の外部の関係者との連携を深め、90周年記念事業を成功させることができた。次年度からは、創立記念日を学校行事の中に復活させ、百周年に向けて前進していきたい。 本校の魅力をさらに外部へ発信していくために、ホームページや「中学生体験入学」の内容をより充実したものにする。 |
| | | 本校の活性化のために、学校評議員や学校関係者評価委員に対し、積極的に学校行事への参加を要請するなどして、本校の教育活動に対しての意見を求める。 | A | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 迅速で効果的な広報活動の展開 | 学校案内、広報用資料、広報用プレゼンテーション、学校紹介ビデオ、ホームページの内容を刷新し、本校の特色や魅力を外部に発信する。 | A | A | |
| | | 中学生やその保護者、地域の人々に本校の魅力をさらに伝えるために、「中学生の体験入学」の内容を改善充実させるとともに、小学生に対しても広報活動を広げていく。 | A | | |
| 図書活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 読書習慣の定着と図書館の積極的利用の拡大 | 図書館オリエンテーションや読書週間を充実させ、生徒の主体的な読書活動や積極的な図書館利用を図る。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 図書委員会主催の読書会を行うなど、活発な委員会活動を実施できた。ただ、図書委員会が生徒会組織の中に入っていないことが課題である。2年後には県レベルの業務を本校が担当することになるので、次年度は図書委員会の位置づけを検証したい。 芸術鑑賞については、次年度は校外の施設で、能や歌舞伎の鑑賞ができないか検討したい。 電子黒板が2台配備されているが、使用頻度を高めていく工夫が課題である。 |
| | | 図書委員会の運営体制を見直し、活性化を図るとともに、読書案内「筑高の100冊」を作成する。 | A | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 情操教育の促進 | 芸術鑑賞の内容を創立90周年にふさわしいものにし、豊かな感性と多様な文化に親しむ態度を育成する。 | A | A | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 教育機器の整備 | 視聴覚室の積極的な活用を促進し、ICT機器や電子黒板の効果的活用を推進する。 | B | B | |
| 事務室運営 | <ul style="list-style-type: none"> 経営参加型の事務室業務の推進 | 生徒・保護者のニーズに応えるため、より効果的な予算の編成・執行を行う。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 事務室から各分掌への情報発信も含め、情報の共有化を推進する。 |
| | | 各分掌と情報の共有化を図り、学校経営目標が実現するための事務処理を行う。 | A | | |
| | | 生徒・保護者に対して、より分かりやすい内容での的確に情報発信する。 | A | | |